

No. 124 2016. 10

(株) よかネット

NFTWORK

3	第 119 回地域ゼミ報告 現代版山守の仕組みを構築して里山を守りたい -糸島林研クラブが目指す取り組み-	2
	津屋崎千軒フットパスまつり& 第 4 回まちなみフォーラム福岡 in 津屋崎千軒	5
14:5	多久市ローカルシェアリングセミナー運営事業	7
1	福岡市で校区ビジョン策定のお手伝いをしています	9
ا	皆様から寄せられた「よかネット」へのご意見、近況など	10
ź	見・聞・食 香陵校区で災害図上訓練を行いました	
•	ペルー旅行記	13
	记况	
	「森の健康診断」に参加しました	17
	ヘリテージマネージャー(地域歴史文化遺産	
1	保全活用推進員)をやっと修了できました	18

●山林所有の細分化が里山環境保全の妨げに

福岡県の林家 (いわゆる山主) の山林保有状況を面積別にみてみました。 $1 \sim 3$ ha 未満が全体の約 64% (10, 591/16, 156 世帯) を占めています。現在は 1ha 未満の項目はありませんが、1990 年当時だと 0. 1ha \sim 1ha 未満の林家数は全体の 67% (39, 304/58, 629 世帯) を占めていたことから、現在も 1ha 未満の山林保有者は多いことが想定されます。山林保有の細分化は、農村集落の後背地の里山に多く、竹林の侵入なども見られますが、景観保全や環境整備が進まない要因にもなっています。(2 頁に関連記事)

福岡県の保有山林面積別林家数※



資料:農林業センサス(2010年)

※林家は調査期日現在の保有山林面積が 1ha 以上の世帯

第119回地域ゼミ報告

現代版山守の仕組みを構築して里山を守りたい - 糸島林研クラブが目指す取り組み-

本田 正明

「林研」というのは林業研究グループの略で、今から 60 年くらい前に林業の技術開発や経営研修、交流などを行うために設立された全国組織で、山主などの林業の後継者が参加要件になっているところも多いそうです。

私が糸島林研代表の吉村正春さんに初めてお会いしたのは、「林業塾」というチェーンソーの使い方や伐採方法を教える一般向けの林業体験の場だったので、林研とはNPOのような組織ではないかと勘違いしていました。林研も現在は2つの流れが生じており、宮崎県や鹿児島県などの林業が盛んなところでは昔ながらの林研が続いており、都市部に近いところでは、Iターンを受け入れたり、一般の方々との交流に力を入れるところが増えているそうです。糸島林研は後者で、都市との交流などに力を入れています。今回のゼミでは、まったく林業を知らない人も多かったことから、現在の福岡県や糸島市の森林の状況を踏まえながら、糸島林研の取り組みを紹介していただきました。

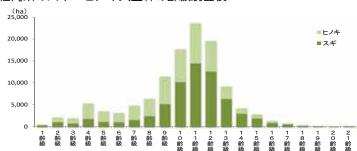
●主伐時期を迎える森林

森林は「齢級」といって5年単位の尺度がある。 福岡県の森林面積の状況をみると、もっとも多いのは11齢級で50年以上経過した森林が中心 となっている。材木として切る「主伐」の適齢 期を迎えているのだが、主伐が進んでいるわけ ではない。

主伐を行うと森林法で植林が義務付けられている。しかし林業というのは、最初の5年間が下草刈りなどの手間やコストがかかるため、植林をしなくて済む間伐を続けているのが現状である。

主伐を行わないと病気などで枯れる可能性があるため、福岡県も主伐を行うよう補助金などの支援も行っているが、なかなか増えていない。そのため、低い齢級の木がほとんどない状況になっている。

福岡県のスギ・ヒノキ人工林の齢級別面積



資料:福岡県地域森林計画書(H27年)より作成

●木を切っても出す人がいない糸島

糸島市は福岡県内で7番目の森林面積を有している。しかし、出荷はほとんど行えておらず、わずかに出荷する材木も半分以上が間伐材という状況である。

その原因として、これまで糸島には原木市場がなかったことがある。福岡県内にはうきは、八女、豊前にそれぞれ原木市場があるが、糸島市から遠いため、出そうにも経費が合わない。むしろ伊万里の原木市場が近いため、そちらに出荷してきた経緯がある。4年前にようやく糸島市と伊万里木材市場が組んで「伊都山燦(いとさんさん)」という原木市場ができ、出荷できる状況になった。

糸島市では荒廃林整備で間伐はかなり行なわれている。しかし、50年を過ぎた木を切っても、 林道などのインフラ整備が遅れており、木の搬

福岡県内市町村の森林面積ベスト 10 (単位: ha)

	土地面積	森林面積	森林率
福岡県	497,699	218,629	43.9%
八女市	48,253	31,568	65.4%
北九州市	48,788	18,702	38.3%
朝倉市	24,673	13,446	54.5%
添田町	13,210	11,024	83.5%
福岡市	34,111	10,737	31.5%
飯塚市	21,413	10,424	48.7%
糸島市	21,612	9,729	45.0%
みやこ町	15,128	9,624	63.6%
宮若市	13,999	8,355	59.7%
嘉麻市	13,518	7,671	56.7%

資料:農林水産部農山漁村振興課調べ



所有が細分化された林班(糸島市高上・山北集落) 出技術やノウハウがないことから、木を切って も材木として出せず、切り捨てざるをえない状 況である。

伊都山燦では、1トンあたり3500円での現金 買い取りに加え、2000円の商品券をつけて、出 荷の動機付けを行っているが上記のような状況 もあり、なかなか増えていない。

●糸島林研の取り組み

近年、都市型の林研では森林教育に力を入れている。糸島林研も森林ボランティアを受け入れたり、地元の子どもたちの森林体験をやっている。

具体的には、木の駅プロジェクトとして「森の健康診断」、「林業塾」などを行っている。森の健康診断は、一般の人を人工林に連れていき、森の健全度を調べるという取り組みである。本来は愛知県矢作川流域で台風の被害が大きいので原因を調べようと始まった取り組みだが、糸島の場合は、"森林を知る"という意味合いが強い。(※17頁の近況参照)

林業塾では、防護服を着てもらい、安全面に 最大限配慮しながら木の切り方、林内作業車の 使い方などを指導する。切った木は伊都山燦に 出荷するところまで体験してもらっている。ま た他の地域に出向いてチェンソー講習などを 行ったりもしている。

さらに次のステップとして、糸島市と協定を 結び、市有林での間伐を行っている。これは講 習や研修ではなく、実際に作業を行ってもらっ ている。林業塾では、チェンソーは使えるよう になるが、木は様々な形状があり、倒す技術は



左の地図と同じ位置の航空写真(Googleより) 別に必要になる。その技術を積むための実践の 場を提供している。

糸島林研クラブは、森林組合の作業班として、 間伐を請け負ってきたこともあり、伐採の技術 を持っている。最近では伊万里木材からも仕事 を請け負っている。

伊都山燦ができたことで出荷も可能になり、 兼業であれば山仕事も事業として成り立つので はないか、地元のことは地元でやりたいという 思いから、「林研ワークス」という株式会社も 設立している。

●所有の細分化が進む里山

森林所有者の現状をみると、林家というのは 山を 1ha 以上所有している人が調査対象だが、 福岡県の場合 3ha 未満の戸数が 6 割を超えてい る。糸島市の場合は、50ha 以上の山を持ってい る人は数人しかおらず、零細になっている。

林業では森林の所有管理状況を「林班」という単位で把握しているが、糸島市の集落付近の 林班をみてもらうと、1 区画が 0.03ha などのも のもあり、非常に細かい。集落附近の里山とい われる部分で所有の細分化が生じている。共有 林などの入会地を処分する際、個人に分けたた め、非常に細かい土地になっている。現在は所 有者が孫の代になっているため、権利者が非常 に増えていて全員の同意が取れないため、土地 をまったく動かせない状況である。このような 土地で竹林の侵食やイノシシなどの獣害もひど く、非常に悩ましい問題になっている。

まだ糸島市の場合は国土調査が実施されているため、林班と土地の所有区分がほぼ一致する



糸島林研の取り組み

が、他の地域では境界がはっきりしていないため、より問題が深い。

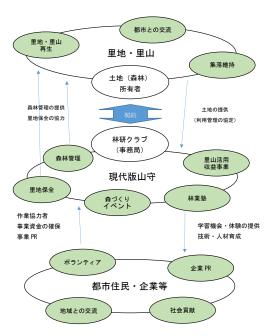
●現代版山守制度を構築したい

70 代の森林の所有者で植林をした世代は伐採したいと思っている人は多い。しかし、身体が動かず実際には実施できない。後継者はすでに山がどこにあるかも知らない状況になっている。

一方で、都市部の人で伐採をやってみたいという人はいる。そこの橋渡しをやるのが現代版山守だと思っている。山守制度というのは、都市部の大金持ちが所有する山の管理を地元の林業家に任せる制度だったようである。

現代版山守制度では、地元で山のことがわかる人間が所有者に代わって、効率重視ではなく長期的な取り組み、地域の結びつきを意識しながら、森の管理を行えないかと思っている。森林組合も広域合併を繰り返したことで、集落の立場に立って考えることが難しくなっている。長期的な視点に立って、地域と関わる仕組みができないかと思う。

私たちは森林のことを「山」というが、最近の人は「森」という。見方や感覚も変わっている。経営だけではなく、自然や環境として山をみている。これからはそうした視点が大事にな



現代版山守のイメージ図

る。ただ、林業専業では難しいので、副業、兼 業で収入になる取り組みを構築したい。体験型 ツーリズムのような取り組みも欠かせない。そ のためには、もっと多様な人材が関わってほし い。静岡県や長野県では多様な業界からの参加 があり、発想が大分違ってきている。林業だけ を考えると、出口が見えずに息が詰まってしま うが、農業など他産業との組み合わせを考え、 安定的な収入が得られる方法を考えていきたい と思っている。

●実証研究の実施

今回、公益財団法人「水源の森基金」から、現代版山守の制度構築に向けた実証研究について、研究助成をいただき、林研クラブと一緒に調査させてもらうことになりました。今回の話のように、里山の所有者が細分化しているなど、森林を取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、実際に現地で里山の管理状況や竹林の侵食状況を調べたり、1つ1つの林班について、今後の管理意向などを地元の方々に聞き取り調査を行いながら、「現代版山守」のような形で、山の管理を任せてもらえうことが可能なのか、調べていきたいと思っています。調査結果についてもまた報告したいと思います。

(ほんだ まさあき)

津屋崎千軒フットパスまつり& 第4回まちなみフォーラム福岡 in 津屋崎千軒

山田 龍雄

9月17日(土曜)に福津市津屋崎にて第4回 まちなみファーラム福岡が開催されました。また、 当日は津屋崎里歩きフットパスの「絶景の道100 選」認定1周年を記念し、津屋崎千軒フットパス まつりも兼ねたものでした。

まちなみフォーラム福岡とは、2012年11月に 開催した「第35回全国町並みゼミ福岡大会」を 契機に2013年6月に設立された任意団体です。

この団体は、全国大会時の事務局員が中心となって運営されており、福岡県内のまちなみ等の歴史的建造物の保存・活用を目指している団体の定期的な情報交換、ネットワークの場となっています。

その後、毎年フォーラムを開催し、第1回は「唐津街道・姪浜(福岡市)」、第2回は「小保・榎津(大川市)」、第3回は「長崎街道・内野宿(飯塚市)」でした。今回は津屋崎千軒のまちなみとフットパスをテーマとして企画されました。

フットパスとは、イギリスを発祥とする "森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からある"ありのままの風景"を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径(こみち)【Path】"という意味です。日本では既に北海道から九州に亘って50箇所が日本フットパス協会に登録されています。津屋崎里歩きフットパスは、「津屋崎千軒海とまちなみ



ガイドつきのフットパス開始

の会」が主体となり、「夕陽風景時計」設置を契機に、次頁の右図のような3つの回遊コースを設定し、2014年7月に開設されたものです。

●夕陽風景時計は、記念日などに訪れると面白い

今回の津屋崎千軒フットパスまつりでは「津屋崎里歩きフットパス」と世界遺産候補「新原・奴山古墳群」の2つのコースが用意されており、私は「津屋崎里歩きフットパス」で約1時間半の里歩きを楽しみました。

このコースでは、先ず、宮地嶽神社の門前町を通り、階段を登り、振り返ると人気アイドルグループ "嵐"主演で話題となった JALの CM に使われた「光の道」を見ることができます。夕陽が参道と海とをつなぐ道を一直線となって照らす日は、11月18日頃と2月23日頃の年2回だけです。今では、この日には多くの人が集まるそうです。今でも嵐効果は続いており、嵐ファンらしき人たちが「光の道」を見に来ているようです。その後、コースは宮地嶽神社から街なかの小径を通り、高野山真言宗の海心寺住職の講和、宮地浜の「夕陽風景時計」の説明をお聞きし、津屋崎千軒のなかにある酒蔵「豊村酒造」に到着しました。

「夕陽風景時計」は、年間の夕陽が沈む方位、 時刻、水平線の島々が描かれ、パノラマ風景が一 目でわかる時計です。



お茶やお菓子でのおもてなしがありました



「夕陽風景時計」の解説をする考案者の緒方さん

この時計は単に「光の道」を表すものではなく、各個人の誕生日や記念日等の夕陽が沈む方位と時間がわかります。ちなみに私の誕生日の夕陽は、玄界島方面に17:10頃に見ることができます。記念日などに夕陽を見に行くのもなかなかロマンチックであり、よく考えられた時計です。機会がありましたら、是非、一度、記念日等の夕陽が沈む時間を調べ、訪れてはみてどうでしょうか。

●急増する来訪者に対してフットパスは、どう 対応していくのか

午後からは開会セレモニー、北九州市立大学地域戦略研究所の内田晃先生による基調講演(フットパスの魅力とまちづくり)、久留米工業大学の大森洋子先生のコーディネートによるパネルディスカッション(テーマ:町家の再活用と町並み景観の保全)、3つの分科会(第 I:フットパスで活かす世界遺産、第 II:古民家の再生活用と移住受入、第 III: 伝建制度、街環事業など国の制度を活用する町並み保全・継承の展開)と全国町並みゼミ並みの構成となっており、濃密な時間を過ごさせていただきました。

私は、分科会Iのコーディネーターを務めさせていただきましたので、この分科会について報告します。

パネリストの報告では、福岡県世界遺産登録推 進室宗像・沖ノ島係の松本将一郎さんが、宗像・ 沖ノ島と関連遺産群の概要と来年度の夏には世界 遺産登録の可否が決まるとの報告があり、最後に 世界遺産登録後に①急増する来訪者への対応、② 世界遺産としての価値の周知、③広域な緩衝地帯



歩行距離によって3つのコースがあります。将来は、 世界遺産コースも追加になります (津屋崎里歩きフットパスパンフレットより)

の景観保全等の課題に対してフットパスがどのように活かされるのかといった討議事項をあげていただきました。

次に北九州市立大学地域創成学群3年生の森彩夏さんからは中間市フットパスの取り組みで、行政と大学だけのコースづくりから地域住民を主役としたコースづくりへと転換したことを報告されました。住民が主体的に関わることでコース自体も魅力アップし、住民も楽しんで参加しているとのこと。

「津屋崎千軒海とまちなみの会」会長の吉村勝利さんからは、団体発足の経緯、「夕陽風景時計」の設置から始まり、「絶景の道 100 選」選定、フットパス活動の内容を報告していただき、世界遺産登録後は①住民の生活と観光との両立、②世界遺産をまちづくりにどのようにつなげるのかといった課題に対して、フットパスが有効でないかとの提起をしていただきました。

以下、分科会でアドバイザーの仲間浩一さん(トレイルバックス代表、福津市景観アドバイザー)からのご意見を含め、提起された主なテーマと意見をあげさせていただきます。

<世界遺産の価値とフットパスをどうつなげるのか>

- ・古来、この地域の人たちは大島や沖ノ島を神として崇拝し、日ごろから島に向かって遥拝をしていた。このような世界遺産の物語性、風景の意味を理解し、コース設定や説明を加えることなどをしないと、情感をもって伝えられないのではないか。
- ・津屋崎のフットパスを勝浦の山裾までつながる



豊村酒造の蔵で行われた分科会の様子

と広範囲となり、「歩く」だけでは負担となる。 コースによっては電動自転車や馬など、他の交 通手段との組み合わせも考えてよいのではない か。イギリスでは歩く場所まで車で移動し、歩 いた後はまた次の歩く場所まで車で移動すると いった車と徒歩の組み合わせのところもある。

<急増する観光客にどう対応するのか>

- ・日本の他都市の世界遺産をみても来訪者が増えるのは2~3年間である。これを踏まえて3年後を見据えた計画、ハード・ソフトとも過剰投資しない計画を考えておく必要がある。
- 長い距離のフットパスコースとなった場合、一

日で回るようなことを考えず、コースをいくつ かに分けてゆっくり回れるコースとする。この 方が何度でも訪問していただき、交流人口増に つながるのではないか。

- ・急に来訪者が増えた場合、トイレやサインなど の観光インフラ関係は、最低限の対応が必要だ が、案内ガイドなどのソフト対応は無理しない 範囲でやっていけば良いのではないか。
- ・急にお客さんが増えると、地域に相応しくない お土産さんなど土地利用が変化していくことが 想定される。これらに対しても事前に考えてお く必要がある。

この分科会では、今後、世界遺産登録後に検討すべき方向性について、いくつかヒントになる意見が出されたのではないかと思います。これら以外にも会場から多くの意見が出され、非常に有意義な分科会となりました。私自身も非常に勉強になった一日でした。

今後、さらに津屋崎のフットパスが観光のためのフットパスを目指すためではなく、世界遺産の価値、物語性を伝え、結果的に観光につながっていくことを期待したいと思います。

(やまだ たつお)

多久市ローカルシェアリング セミナー運営事業

原 啓介

●昨今全国的な注目を集める「シェアリング エコノミー|

総務省情報通信白書(H27年版)によると、「シェアリングエコノミー」とは、一般的に個人が保有する遊休資産(スキルのような無形のものも含む)の貸出しを仲介するサービスであり、貸主は遊休資産の活用による収入が生まれ、借主は所有することなく利用ができるというメリットがある。

シェアリングエコノミーはシリコンバレーを 起点にグローバルに成長しており、同白書によ ると、全世界の市場規模は 2013 年で約 150 億 ドルだったが 2025 年には約 3,350 億 ドル規模 に成長する見込みとのこと。日本においても、自宅や空き家を観光客等に貸し出す「ホームシェア」が合法化されると、インバウンド消費を含めた経済効果が創出されると期待されており、相乗り等の「ライドシェア」が合法化されると、渋滞緩和やそれによる損失時間の削減による経済効果が期待されている。新経済連盟によると、日本での経済効果はAirB&Bのような「ホームシェア」が12.3 兆円、Uberのような「ライドシェア」が3.8 兆円と試算されている。

こうしたサービスへの関心は、九州においても近年高まっている。福岡市では、2016年9月にシェアリングエコノミー協会主催、福岡市の後援により「シェアリングシティ福岡 2016」というイベントが開催され、関連企業が一堂に介して自社サービスの紹介や、今後の展開等について意見交換する場が設けられた。また、日南市は「ご近所のお手伝いを仲介」するサービス



ワーカー育成講座の様子



シェアリングエコノミーセミナー。 講師は㈱クラウドワークスの高橋さん

を展開しているベンチャー企業のエニタイムズと連携し、シルバー人材センターやファミリーサポートセンターへの依頼・マッチングをインターネット上で仲介できる取組を展開している(この取組は、NPOグラウンドワークと弊社が2010年に研究していたタイムバンキングの取組に非常に近いと思う)。弊社としても、佐賀県多久市のローカルシェアリングの取組みに参画させていただいている。

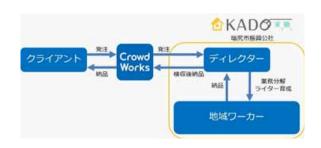
●佐賀県多久市「ローカルシェアリング センター (LSC) 事業」

多久市では、平成28年度より、「ローカルシェアリングセンター事業」に取り組んでいる。この事業は、主婦や育児・介護など様々な理由で家を離れられない方が、東京など都市の仕事をシェアし、地方に仕事を創出することを目的としている。

事業はNPO法人価値創造プラットフォームが 多久市からの補助で運営しており、弊社はワーカーの満足度・ニーズ調査や、今後の多久市と してのシェアリングエコノミーの活用に係るビジョンの検討を受託している。この「ローカルシェアリングセンター事業」では、主に以下の 2つの事業に取組んでいる。



講座実施時には託児サービスを提供



塩尻市では、市の公社がディレクターを雇用し、 地域ワーカーに仕事を分配している

①ディレクターの育成(2名)

㈱クラウドワークスとの連携のもと、法人からの大口委託事業(例えば月間1,000本の記事作成等)の受注窓口を務め、ワーカーへの分割発注、検品・納品とりまとめなど、ワーカーのマネジメントを行う専属ディレクターを2名育成し、今年度の事業修了後に自活できる状態を目指している。

このディレクターが地域に存在することで、 地域のワーカーが、品質が高く、より高単価な 仕事を安定的に受注できる体制が構築されると 期待される。

②クラウドソーシングワーカーの育成(10名)

多久市では、隔月で「シェアリングエコノミーセミナー」を実施し、関連企業の経営者たちから、各社のサービスの概要や使い方を学ぶ講座を実施している。また、クラウドソーシングで発注されている仕事の理解や受注方法、記事のライティング等のオン・ザ・ジョブ・トレーニング講座を開催しており、現在20名が受講している。今後さらに20名の受講生を受け入れる予定である。なお、受講生はほとんどが女性なので、講義スペースの脇では託児サービスも提供している。

受講者からは「自分のペースで働けるので助かる(20代女性)」、「私の出来ることが仕事になるとは思わなかった(60代女性)」といった声が寄せられており、反応は良好だ。

●条件不利地でも、誰かの役に立てる

オンライン上で、ワーカーと仕事発注者のマッチング、業務の遂行、報酬の支払いまでを一括で行うサービスを提供する㈱クラウドワークスの担当者によると、現在ワーカーが「圧倒的に足らない」状況らしく、仕事はインターネット上に溢れている。

プログラミングやデザインなど、特殊な技能 が求められる仕事の単価は高いが、そうした技 術を持っている地方在住者の数は限られてい る。しかし、単価は低いが簡単な記事執筆の仕 事が最も多いそうなので、最初は特別なスキル は必要ない。

まずは各社のサービスを使ってみて、もう少し上を目指そうという方は徐々にレベルアップして、高単価な仕事が取れるようになれば良い。また、スキルのマッチングだけではなく、個人的な悩みや体験に対する相談サービスも相当多い。例えば、㈱ココナラという会社は、「あなたのできることを500円で出品して、『誰かの役に立ちたい』『好きを仕事にしたい』『自分の力を試したい』『自分の力を試したい』『を実現するサイト』だが、最も

福岡市で校区ビジョン策定の お手伝いをしています

山﨑 裕行

最近、福岡市に限らず、各地でコミュニティ活動の方向性や、具体的な内容についてまとめたビジョンづくりが行われているように思います。

弊社が一昨年度から昨年度にかけてお手伝いした筑紫野市の山家地区における「山家振興プラン」もその1つです。昨年度、福岡市の早良区小田部校区で、校区の名称のルーツである「小田部だいこん」について調査する機会を得ました。地域の方に、大根畑が広がっていた昭和初期の様子や、畑が宅地へと変わり開発が進んでいく70年代の

取引が多いのは、占いや人生相談だそうで、個人的な闘病体験や体験談など、同じ悩みを抱えている方の相談に乗ってあげることで対価を得ている人が相当数いらっしゃるそうだ。

前述の多久市のように、地域住民におけるシェアリングエコノミーの理解促進、仕事を受注して分配するディレクターの育成、そしてワーカーのスキルアップを一体的に提供する施策は、九州、特に山間部や離島など条件不利地域における有効な雇用創出施策になると考えている。

11月1日に、多久市で「観光とシェアリング エコノミー」をテーマに取り上げた第3回シェ アリングエコノミーセミナーが開催されるの で、多久市の取組みや観光分野におけるシェア リングエコノミーの導入について興味のある方 はぜひご参加下さい。 (はら けいすけ)

日にち: 平成28年11月1日(火)

時 間:13 時受付

(13 時 30 分開演~ 15 時 30 分終了予定)

会場: 多久市まちづくり交流センターあいぱれっと

佐賀県多久市北多久町 大字小侍 1016 番地 2

登壇社:株式会社 BUZZPORT 江藤誠晃氏

株式会社 notteco 東祐太朗氏

軒先株式会社 西浦明子氏

TABICA (株式会社ガイアックス) 小島俊氏

参加費:無料

様子、また、小田部だいこんそのものについて地元の農家さんにヒアリングを行ったり、航空地図等を活用しながら、まちの移り変わりと小田部だいこんとの関係などを整理し、最後は、小田部だいこんを切り口として、これから校区が目指す方向性を検討しました。この取組も、その1つと言えます。

今年度、弊社では、福岡市から校区ビジョン 策定に向けた支援業務を受託し、コミュニティ に関する業務でいつもご一緒させて頂いている WithLaboの貞清潔さんとともに、博多区美野島地 区と中央区高宮校区の2カ所で、お手伝いをする ことになりました。現在は、自治協議会役員の皆 さんへのヒアリングを行っているところですが、 取組はまだ始まったばかりです。

●校区ビジョンとは

そもそも校区ビジョンとはどのようなものか。 福岡市では、各小学校単位を1つの単位として、 住みよいまちづくりに向けて継続的・計画的にコ ミュニティを運営する住民自治組織として自治協 議会が設立されています。校区ビジョンは、この 自治協議会の活動範囲である校区を対象として、 校区住民が地域の現状と将来像を共有し、地域の 実情や特性に応じたまちづくりの推進を図るため に、校区の目標や将来像、取組み項目などについ て取りまとめるものです。

これは、福岡市が平成26年に実施した自治協議会等へのアンケート調査から、よりよい地域づくりのために、校区の実情・特性に合わせた目標や方針について約半数の自治協議会で定められており、約1/4の自治協議会が「今後定めたい」との意向を持っていることが明らかとなったこと。また、平成26年7月に設置した「地域のまち・絆づくり検討委員会」において、委員から「地域の課題や目標、地域の活動状況等の見える化を図る」や「幅広い世代の住民の意見をまちづくりに反映させる仕組みを構築する必要がある」、「全市一律ではなく、地域の実情に応じた弾力的なコミュニティ運営等を推進する必要がある」といった意見があったことを踏まえたものです。

では、実際にどのようなビジョンを目指しているのか。今回、お手伝いしている美野島地区と高 宮校区で目指していることをご紹介します。

●「災害に強い美野島」に向けて課題と取組 プロセスの共有

博多区美野島地区では、これまで「災害に強い 美野島」を目指し、「地震」を念頭に、美野島地 震避難マップづくりや、避難所運営体験訓練など を行ってきました。今後は、これまでの取組みを 地域内に広く周知を図り、平常時からお互いに連 携して、災害に強い美野島づくりを進めていこう と考えています。

そのため、地区ビジョンは、町内会長をはじめ、 各種団体が、これまでの防災・減災に関する活動 の内容を共有し、災害時の体制の充実や、平常時 の連携と協力体制の構築のために普段の活動を通 して出来ることを話し合い、そこで出たアイデア 等を今後の活動に生かすことを目指しています。

●校区の環境を守り続ける自治活動の羅針盤づくり

高宮校区は福岡市の中心部から近く、交通や買い物などの利便性が高いだけでなく、閑静な住宅地としての環境も備える校区ですが、近年、マンションの急増による人口増加により、コミュニティ意識の希薄化、また、店舗等の出店増加により、騒音等の新たな課題が顕在化しています。そのため、校区ビジョンは、「いつまでも住み続けたい楽しいまち高宮」に向けて、町内会長をはじめ、各種団体が校区の目指すべき姿とその実現に向けた活動を共有し、これからの自治活動の方向性を示すことを目指しています。

ビジョンと言っても、その捉え方は様々です。 私個人は、様々な地域活動をする中で、悩んだり、 困ったりして、時には活動の意味を見失いそうに なることもあると思います。その時に「なぜ、こ の活動をしているのだ」という原点に立ち戻れる ものとして、ビジョンがあると思っています。 2 地域とも、ヒアリング等は年内に終えて、その 後にとりまとめを行い、2 月頃に地域住民の皆さ んに報告会を開催することを予定しています。

(やまさき ひろゆき)

皆様から寄せられた「よかネット」へ のご意見、近況などの紹介(敬称略)

- ■世界の都市で、福岡が京都を抜いて7位の住み やすい都市に選ばれました。そこで、その福岡 の自然観光部門で、本物になるように糸島で頑 張っています。 (福岡市 簑原 俊樹)
- ■毎号興味深く読んでいます。No. 123 号の「防災、減災の基礎力を高める」。私は防災に関して何もしていないので、タンスなどが倒れないように今度の日曜にします。

(糸島市 重冨 敢二郎)

■グローバル化、情報化、金融化、サービス化に よって、地域づくりがよって立つ原理・政策論 がすべて根無し草になってしまいました。スマ ホの一言で政治・社会が振り回され、明日が見 えません。そういう時代だからこそ、なお頑張っ てください。 (筑紫野市 山下 國誥) ■地震と豪雨、皆様の御見舞と一刻も早い復興を 祈念しております。些少ですが支援金を寄付さ せて戴きました。皆様のご健康を祈っておりま す。ガンバレ九州!!!

(調布市 竹中 英夫)

■本年3月で再任用も終わり、年金生活者となりました。我が家は3世代同居で孫が3人(5才、3才、1才)いるので、そんなにヒマな時間はありません。家庭菜園の手入れもあり、そこそこ忙しい時間を送っています。月1回の山歩きの会も20年を超えました。とにかく健康第一ですね。「よかネット」の情報は結構重要です。今後とも楽しみにしています。

(北九州市 丸山野 美次)

■様々な地域の情報、課題が紹介され大変な刺激を受けています。江戸期に成立した村が、過疎化、高齢化で消滅しつつある現状を何とか、活性化する方向性を見出したいと思っています。

(小郡市 井澤 洋一)

■空間評価研究会、汎房総地域づくり研究会、日中親善教育・文化・ビジネスサポートセンター (NPO)、日本モノレール協会等の顧問として頑張っています。目下の関心事は「広域都市づくり+amenity核づくり」関連です。関心のある方と交流したいものです。

(小金井市 渡部 與四郎)

■カニ族と呼ばれ50年振りに、北海道全土とはいえませんが、函館-札幌-旭川-稚内-網走-知床-釧路-苫小牧等14日間かけて巡りました。そして、人口減で悩む自治体の方々の話を聞きながらも「日本はちっちゃいけど、北海道はデッカイぞ」を実感。

(神戸市 上谷 重男)

■2年強かけて進めてきた自宅の建て替え計画、 ようやく終わりに近づきました。

(福岡市 江上 徹)

■よかネットを拝読し、いつも習慣化した心の状態に慣れすぎていることに気付かされます。差し迫った危機に即応することに一呼吸入れ、コミュニティが原単位であることを確認し、地域づくりをやらねばと考えています。

(北九州市 山﨑 朖)

- ■重粒子によるがん治療、順調で3年間で1,500 以上の方々を治療しました。管理会社の代表を 辞し相談役となり、今後を楽しみに見守ってい きます。 (東京都世田谷区 山野 宏)
- ■今回の熊本地震で被災した南阿蘇村の住民です。幸い私個人は無事でしたが、電気通信の大切さを実感しました。自分の村の様子を携帯で東京の友人から教えてもらいました。

(熊本県南阿蘇村 高畠 一純)

■大学退職後、もはや3年3ヶ月が過ぎました。 現在も鹿児島県の常設委員会の委員を4件、公 的法人の理事などを4件抱えています。2月に は4泊6日のインド旅行(都市住宅学会主催) に夫婦で行きました。

(鹿児島市 友清 貴和)

- ■去年10月と今年5月防災講演で博多、大牟田を訪れました。今年は時間の余裕をみて、友人の住む熊本を訪れました。直下型と当方の違い、当方を含めアフターにこそ本当の想定外が・・・を実感しております。帰途、唐津の虹の松原を訪問。在りし日の高田松原を思い出し目頭を熱くしました。 (陸前高田市 實吉 義正)
- ■熊本地震や空き家対策など時期に合致した企画 は勉強になっています。(彦根市 金井 萬造)
- ■西欧の哲学、宗教によって支配されてきた事による近代の弊害をどう超克するか。それにはインド、古代中国の特に道教を中心とする東洋の思想に手がかりがあると思われる。それはネットワークという無機質な印象の言葉より絆という言葉にも表れている。「よかネット」毎回ごくろう様です。継続は力なりですが、惰性的継続は問題を矮小化し隠蔽してしまいます。常にサムシングニューを念頭に頑張ってください。

(福岡市 西岡 弘)

- ■一般解がつくりにくい時代、個別解を現場に密着してつくることができるコンサルタントは貴重です。ご健闘を! (横浜市 柳沢 厚)
- ■昨秋永眠された大学恩師をしのぶ会を教え子で 企画中です。追悼論集を作成し、先生から 40 手前に手渡されたものを振り返り、次世代へ伝 えていこうと考えています。

(東京都北区 大竹 亮)

香陵校区で災害図上訓練を 行いました

山﨑 裕行

9月11日(日)に、福岡市東区の香陵校区で「あすねっと香陵(香陵校区自治協議会)」の皆さんにお声かけ頂き、災害図上訓練の講師を務めさせて頂きました。今回は、弊社が「福岡市共創による地域づくりアドバイザー」に団体登録していることから、この制度を利用した事業だったのですが、弊社にとってはじめての派遣となりました。

当日は、約30名の地域の人たちに、1時間半の中で、内容を3つに分けて進めました。第1部は講話、第2部は大きな揺れが起きた場合に、自宅がどのようになるかについての話し合い、第3部は災害図上訓練として、地震、津波を想定し、地域の白地図を使って避難場所・避難所の確認と、避難経路について話し合うというものです。

●九州では警固断層、別府~万年山断層帯で 地震発生確率が高い

まずは、講話ということで、九州における主な活断層の紹介や、地震を含め、大雨や土砂災害などの特徴、災害に備えて「自分の命は自分で守る」ために「自分」や「家族」で取り組めることなどについてお話をしました。

国の地震調査研究本部のHPには、九州地域の活断層の長期評価をはじめ、各断層の特徴やどれくらいの周期で地震が起こっているかなどの資料・データを見ることができます。その中で、平成25年に公表された「九州地域の活断層の地域評価」では、今後30年間で、マグニチュード6.8以上の地震が発生する確率が示されています。

それによると熊本地震を引き起こした日奈久断層、布田川断層は、それぞれ、ほぼ 0%-0.9%と 0%-6%というもの。一見すると低いと印象を持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、実は、日本全体で見ると高い分類に位置しています。では、その次はどこなのかと言うと、福岡県の



災害図上訓練の様子

警固断層(ほぼ $0.3 \sim 6\%$)や、大分県の別府 – 万年山断層帯($2 \sim 4\%$)になるのですが、発生確率もさることながら、それにとらわれることなく、「いつでも、どこでも、地震は起こる」ことを忘れないことが重要だと言えます。(各断層の発生確率等、詳細を知りたい方は、こちらをご確認下さい。

(http://www.jishin.go.jp/)

また、人間には、避難しようと思っても、なかなか避難できない癖(=バイアス)があることなどもお話させて頂きました。

●参加者の多くが実践できていない自宅内転倒 防止対策

第2部は、実際に大きな揺れが起きた場合に、 自宅がどのようになるかを、参考映像を見ても らった上で考えてもらいました。地震をテーマ にする際には、いつも取り入れているものです。 今回、4班に分かれて話し合って頂いたのです が、意見として多かったのは、物(タンス、冷 蔵庫、テレビなど)が倒れてくる、電気が消える、 ドアが開かなくなるなどでした。

大きな地震が起こる度に言われていることとして、自宅等の耐震改修(その前の耐震診断)と家具等の転倒防止があると思います。個人的には、わかってはいるけどなかなか進まない代表格だと思っているのですが、「いつ、どこで、どれくらいの規模で起こるか分からない」故の難しさがあると感じています。特に、家具等の転倒防止は、ホームセンターで安価でも効果のあるグッズが販売されているにも関わらず「していない」という人が多いと感じています。私

も出来ているかというと、お恥ずかしいことに 出来ていません。ただし、その代わりとして、 安全ルームを作っています。要は、物が倒れて きても死ぬことがない、あるいは怪我をしない ことが重要なので、倒れてきそうなものが無い、 仮に倒れてきても怪我をしない部屋を作りまし た。寝るときは、いつもそこで寝るようにして います。物を動かすだけなので、これもお金を できるだけかけない1つの防災・減災対策と言 えます。

●校区内で外部の人が垂直避難できる集合住宅 は5か所

ここまでの内容で、残り約45分。今回のメインイベントである災害図上訓練に移りました。今回は、指定の避難場所・避難所の確認と、もしも指定の避難場所・避難所が使えない場合に代替となる場所・施設の確認、そして、津波の恐れがある場合と無い場合における避難場所・避難所までの避難経路の確認を行いました。香陵校区内には、指定の避難場所・避難所が4箇所あります。この4箇所については、各班ともご存知の方がいて、スムーズに見つけられていました。また、代替となる場所・施設についても、比較的スムーズに見当をつけられていました。校区内、また校区の周辺に敷地規模が大きなところが、いくつかあることが、その要因だったように思います。

香陵校区は集合住宅だけのまちであり、分譲マンションもオートロックのところがほどんどです。したがって津波が来た場合、外にいる人が校区内でスムーズに垂直避難ができるところは分譲マンション、賃貸住宅含めて5か所しかないことを確認しました。

熊本地震が起きてから、早くも6ヶ月が経過しようとしています。現地に何度か行きましたが、傾いた家やがれきの撤去があちらこちらで見られるようになり、ようやく復興に向けて動き出したように感じます。防災・減災に関する取組を「他人事ではなく我が事」として受け止めて、実際の行動等につなげられるように、これからも内容を工夫していきたいと思います。

(やまさき ひろゆき)

ペルー旅行記

佐伯 明日香

4月に研修で行った台湾の熱も冷めやらぬ翌週のGWにペルーへ行ってきました。元々マチュピチュが私の行ってみたい場所ベスト3に入っていたこと、友達に誘われたこと、期末手当が出た事が重なり、行く決心をしました。

日程は、下記のとおりでした。

1日目:移動(リマ泊)

2日目:リマ観光(リマ泊)

3日目:ナスカの地上絵(リマ泊)

4日目:クスコへ移動後マチュピチュ

(マチュピチュ泊)

5 目目:マチュピチュとワイナピチュ

(マチュピチュ泊)

|6日目:オリャンタイタンボ、モライ遺跡(農業

試験場)、チンチェーロ、マラスの塩田

経由でクスコへ移動(クスコ泊)

7日目:クスコ観光後リマへ移動(リマ泊)

8日目:リマ観光後、帰国

●セスナは約 45 度傾く

今回の旅行のメインは、マチュピチュとナスカの地上絵を見ることでした。私はブルーインパルスにはまっているように飛行機が好きなのですが、自分が乗るのは嫌いです。12人乗りの小さなセスナ機に乗ることに耐えられるのか、乗る前までは不安でいっぱいでした。離陸するまで、グチグチ怖いだの言っていましたが、実際飛んでみると、ほとんど揺れなかったので、全く平気でした。

離陸してから、約30分かけて地上絵がある 所まで飛行するのですが、到着したらパイロットが「いたいた、クジラ。羽の下、羽の下」と 言いだし、急に45度ぐらい傾き旋回して、絵 が見えるようにしてくれました。が、こんなに 傾くなら先に言っておいて欲しかったです。急 だったのでビックリしました。

普段だと、そこでぎゃーとなりそうなのですが、絵を見つけることに必死で、怖がる事を忘れていました。何かに集中すると怖さって紛れるものなのですね。無事10個ぐらいの地上絵



ナスカの地上絵 (コンドル)。上部に飛行機の翼。 この角度で見るために 45 度飛行機は傾く を見ることができました。

●ピマコットンはベネトン!?

地上絵のツアーのガイドさんが、飛行場から ホテルへ戻る時に、ペルーでは、ピマコットン という上質な綿が採れるという話をしていまし た。そしてピマコットンのタオルが売っている お店がリマにあるということだったので、お土 産に買いたいと思い、夜ご飯の買い出し組とピ マコットンを買いに行く組とに分かれて行くこ とにしました。

この組分けが良くなかったようで、今回5人で行ったのですが、内2人の英語が話せる子が夜ご飯組だったので、ピマコットン組は、英語が話せない2人でした。そして私はピマコットン組。ガイドさんからお店の場所は地図に書いてもらっていたので、それを頼りに行くと、お店は閉まっていました。お店の名前は「タイロイ」。

せっかく来たのに諦めきれない私たちは、近くの飲食店の人にカタコトの英語とジェスチャーで、ピマコットンのタオルが買いたいこと、タイロイは閉まっている事を伝え、他にお店は無いのか聞きました。すると、わざわざ近くのショッピングモールまで案内してくれ、3階にタオルが売っていることを教えてくれました。

起死回生とばかりに、タオル売り場へ行き、 店員さんに聞く私たちだったのですが、ここで 致命的なミスをしていました。ピマコットンで はなく、タイロイについて質問していたのです。



マチュピチュ村の東京の東京の東になったのでは、一大の東になった。一大の東京では、アイスの東京で移動する。

ここにはタイロイは無いというのが返事でした。がっかりしながら、最後の日のリマに戻ってきた時に出直すことにしました。

リマへ戻って来て、タイロイを再び訪れたのですが、目の前には受け入れたくない光景がありました。そこはタオル屋さんではなく、文房具とおもちゃが売ってある店でした。念のため友達がお店の人にピマコットンのタオルはあるかと聞いたら、ここは文房具屋だ、あるわけないだろう的なことを言われました。

そしてピマコットン組はピンときます。ガイドさんが地図に書いた場所は、タイロイではなく、あのショッピングモールのことだったのだと。ショッピングモールへ行き、店員さんに聞くと、これがピマコットンだと指さした先にあったのは、ベネトンのタオルでした。

そこにいた皆が言いました。「ベネトンやん...」。私たちは、今治タオルのようなブランド化された物を想像していたのです。日本で買える気もしましたが、せっかく見つけたので、3枚買ってかえりました。

●いよいよマチュピチュへ

私にはセスナともう一つ不安なものがありま した。高山病です。

クスコの標高が約3,400 m、マチュピチュ遺跡が約2,400 m、ワイナピチュの山頂が2,667 m。私は今までにそんな高い所に行った事がなかったので未知の世界でした。

心配だったので、山に詳しい方に聞くと、 2,500 mぐらいから高山病になる、人によって



ザ・マチュピチュ。後ろの山がワイナピチュ

症状が全然違う、高度に強いかどうかは体質なのでどうしようもない、症状がひどくなったら降りる(高度を下げる)しかない、とのことでした。

空路でリマからクスコへ入り飛行機を降りる時はちょっとドキドキしましたが、全然平気でした。この時点で友達の1人が、ちょっと息苦しいと言っていました。

そこから電車でマチュピチュ村(高度約2,000 m) まで移動し、ホテルヘチェックインしました。ホテルは独特の匂いがして、臭いなあと思っていたら、高山病に効くと噂のコカ茶の匂いでした。コカ茶はセルフで作って飲んでいいようになっていたので、水筒に入れ持っていくことにしました。この時、味見をしたのですが、不味かったです。

そこからマチュピチュの遺跡まではバスで山を登ります。バスに乗る列に並んでいると、通り沿いにあるお店に酸素ボンベがあったので購入しました。

到着すると入り口のゲートがあり、そこで入場チケットとパスポートを掲示します。マチュピチュの1日の入場者は2,500人と制限があるそうです。あと、トイレは入り口の外にしかないので、再入場はできますが、入る前に行っておくのがいいと思います。使用料1回1ソルなので、1ソルコインを数枚用意しておいた方がいいです。

まずは、遺跡全体が見渡せる見張り小屋に向 かいました。石造りの階段を登っていくのです



ワイナピチュの 登山道

が、そこで初めて空気の薄さを実感しました。 普段から運動不足ではありますが、明らかに数 段階段を登っただけで息が切れます。

フーフー言いながら登ると、そこにはマチュピチュが広がっていました。本やテレビで見た 風景そのままで、生で見ているという感動がありました。

そこから遺跡の方へ降りて中を見て回りましたが、マチュピチュの入場が17時までで、この日は夕方に着いたので、1/3ぐらいしか見られませんでした。

●酸素ボンベとコカ茶に救われる

翌日は10時からワイナピチュの山に登る予定にしていました。せっかくなので朝日が昇るマチュピチュを見ようと、早朝からバスに乗って向かい、10時までの間、前日回れなかった遺跡を見て回りました。

遺跡を見て回る際も、結構階段の上り下りがあります。途中何度か酸素ボンベのお世話になりました。疲れてくると頭がボーッとしてくるのですが、酸素を吸うとクリアになります。そして不思議なことに、ホテルでは臭くて不味かったコカ茶が、疲れた時に飲むと美味しいのです。私がコカ茶を持つ担当だったのですが、初めは皆に「コカ茶いる?」と聞いても「いらな~い」と言っていたのに、途中からは「飲む飲む」に変わっていました。

ただし、コカの葉は、日本には持ち込み禁止なので、お土産などに買わないように注意が必要です。



ワイナピチュから見たマチュビチュ。左のギザギ チュ。左のギザギ ザした所がハイラ ムビンガムロード

●ワイナピチュからマチュピチュを臨む

ワイナピチュは、よく見るマチュピチュの写 真などで、遺跡の後ろにそびえ立っている山で す。ここに登るには前もって予約が必要で、登 り始める時間も決められています。

登山道は、急な登り坂や狭い所もあり、しかも岩場なので鎖を持ちながら登らなくてはいけない所が数カ所ありました。

少し登っては休み、酸素とコカ茶を注入しながら、なんとか頂上まで登ることができました。 酸素ボンベを吸っている集団は私たちぐらいで したが。

頂上からは、マチュピチュ遺跡とハイラムビンガムロードと呼ばれる道路が見下ろせました。大自然の中にあるマチュピチュを堪能できます。改めてよくこんな所に造ったなあと思いました。

ハイラムビンガムロードとは、マチュピチュを発見したハイラム・ビンガム3世にちなんで名付けられ、今はバスが通る道路になっています。映画インディジョーンズの主人公のモデルにされた人物でもあるそうです。

平均2時間で登って降りてくるところを、私 たちは2時間半かかりました。上出来だと思い ます。

●ペルーの料理は美味しい

ペルーの料理といわれても、全然ピンとこなかったので、美味しいのか不味いのか・・・結果は、美味しかったです。特に、セビーチェという生の白身魚を使ったマリネは、香辛料が効い



セビーチェ。手前はコーン。玉ねぎの下に生の白身魚 ていて、柑橘系の爽やかさがあり、メニューに あれば毎回頼んだぐらいでした。

他の料理も、ほとんどが日本人の味覚に合う ので、おすすめです。

●ガムテープのお話

今回、旅慣れた友達との旅行だったので、飛行機やホテル、ナスカやマチュピチュの手配、全て任せっぱなしでした。なので、何か役に立つ物を持っていこうと思い、ネットで調べていると、とあるブログにスーツケースが壊れてガムテープが役に立ったと書いてあったので、ガムテープを持って行きました。

行きがけ皆からは「何に使うの???」と不 思議がられましたが、帰りにリマのホテルで荷 造りしていると、見事に友達のスーツケースの 鍵が壊れました。ガムテープの出番です。今回 の旅行で私が唯一役に立った出来事でした。

●やっぱり南米は遠い

福岡からペルーへ行くには、まず成田へ飛び、ロサンゼルスを経由してリマに入ります。合計約20時間飛行機に乗ります。帰りはロサンゼルスではなく、ニューヨーク経由だったので、約22時間でした。途中で乗り継ぎの時間もあるので、1日がかりの移動です。

飛行機内では、圧迫するタイプの靴下をはいていたので、足がむくんだりはしなかったのですが、お尻が痛かったです。マチュピチュを見て回るにしろ、長時間飛行機に乗るにしろ、旅は体力がいるなあと改めて思いました。

(さいき あすか)

近 況

「森の健康診断」に参加しました

「森の健康診断」は人工林に入り、木の幹の太さを測ったり、植生を調べたりすることで、森林の状況を一般の人々にも知ってもらおうという主旨で開催されています。愛知県で始められた取り組みで、糸島でも4回目を迎えます。チェンソーなどを使った危険を伴う作業はなく、子どもたちも体験できると聞き、6歳の息子を連れて参加してきました。

朝9時、集合場所である糸島市役所前には、 すでに50人ぐらいの方々が集っていました。 作業着の人やヘルメットを持参している人も多 く、なんだかプロ集団のようです。知り合いが 数人いたので、なんとか輪に入れましたが一般 の人は少なそうです。話を聞いてみると、半数 近くの方がスタッフで山に入り慣れた方々で、 一般の参加者は20人くらい、子どもの参加は 息子1人でした。

●「木は神様です」という住職

今回は4つのグループに分かれて山に入ります。みんな同じ山に入るのかと思いきや糸島市の広範囲に散らばって診断を行います。私たちのグループは雷山の担当でした。グループのメンバーはスタッフの他、退職後、趣味で山登りをされている人や東京から移住して農業を営まれている人などがいました。植物に詳しい女性のインストラクターもいて、息子の相手をしてくれました。

私たちが入る森は、雷山千如寺が管理されているところで、まずはお寺にお参りに行きました。境内に入ると住職さんにお迎えいただき、「木はそのまま神様ですから、とても大事なんですよ」とお寺と森のつながりについて、丁寧に説明をしてくれました。

千如寺の雷山観音はもともと雷山の中腹にある雷(いかづち)神社の境内にあったそうです。 明治時代の神仏分離の影響で、千如寺に移され たのですが、雷神社には神官がいなかったこと



住職さんにお寺と森の説明を受ける参加者

もあり、廃仏毀釈されずに済んだそうです。仏 様はケヤキの木で作られていることから、「昔 は雷山によほど大きなケヤキがあったんでしょ うね」とおっしゃっていました。千如寺は真言 宗のお寺なのですが、住職さんの「木は神様」 という言葉を聞き、ここでは森も神様も仏様も 一体なんだなと感じました。

●印象とデータが異なる森林環境

午前中は山に入ることなくお寺の話ばかりだったので、子どもは少し退屈ぎみでしたが、午後からようやく森の健康診断です。調査地点はお寺のちょうど真裏の森でした。昔はここにも集落があったそうですが、現在は1軒を残すのみだそうです。全面杉林で、木の間隔がゆったりしています。数年前に一度間伐を行ったそうで、丸太も多く転がっていました。外はまだ残暑が厳しいのに、山の中は小川が流れていて、涼しく感じました。ただ、鳥や虫などの声はほとんど聞こえませんでした。

診断のマニュアルに添って、斜面などの影響の少ない模範的な中心木を決めます。その木を中心に回りの樹木の数や胸高の直径、植生などを調べてまわります。植物はシダしか生えていないという印象でしたが、みんなで葉っぱを集めインストラクターに分類してもらうと20種類もありました。植物の分類は素人だけではかなり難しいと思いました。一方、息子は勝手に昆虫採集を行い、バッタやキリギリスの仲間など3~4種類見つけていて、針葉樹林でも意外と昆虫がいることを教えてくれました。分度器やストローを使った簡単な道具で木の高さも測

り、この樹高と木々の密度から森の状態を判定すると「超過密」という結果に。木の間隔にゆとりを感じたのですが、樹高が高いため、さらに間伐が必要な状況なのだそうです。印象とデータではかなり差が出るものだと勉強になりました。住職さんは、「超過密」という判定に驚かれていましたが、「いつか森の木でお寺の改修ができるよう、手入れを行っていかないといけないですね」といわれていました。その様子を伺いながら、この診断は一般の参加者よりも山主にこそ参加する意義がある取組みだと感じました。

11月には健康診断の報告会を兼ねたシンポジウムが開催されるそうです。森との距離感を縮めたい方は、一緒に参加してみませんか。

(本田 正明)

〇ポヘリテージマネージャー(地域歴史文化遺産 保全活用推進員)をやっと修了できました

福岡県建築士会まちづくり委員会のヘリテージマネージャー部(部会長 中島孝行氏)が主体となって2013年から開始したヘリテージマネージャー養成講座は、今期で4期目を迎えます。ヘリテージマネージャーの役割とは、①既存の価値ある建造物(地域の歴史文化遺産)を発掘し、地域づくりに活かしていくこと(例えば、価値ある建造物を登録文化財に指定する、歴史ある建造物を保全し、活用するなど)、②災害時に損壊した価値ある歴史的建造物等を簡単に解体するのではなく復元できるものは復元するよう所有者と協議し、復元のサポートをすることにあります。

平成7年の阪神・淡路大震災時には、再建不能と思われた旧居留地15番館(国の重要文化財)は、10数億の予算をかけ復元された一方で、指定を受けていない多くの名建築は公費解体のもと、町の風景から姿を消してしまったと言われています。このため兵庫県建築士会から始まった「登録文化財制度」、ヘリテージマネージャー養成のための講座は、現在、全国34県(全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会参加建築士会)まで拡がり、各県の建築士会が主体となって進められています。

受講期間は8月上旬から2月中旬まであり、概ね隔週土曜日の午後からの講座を60時間、受講しなければなりません。また最後は、「自分で見つけた登録文化財級の建造物の調査」を完了しないと修了できません。

私は、2期目に受講したわけですが、どうしても土曜の仕事と重なって、これまで修了できませんでした。受講するときは、仕事の関係で3年はかかるとは思っていましたが、予想どおり、残していた9月24日の講座を受講し、やっと3年目で修了となりました。

ヘリテージマネージャーの資格をとったから といっても、多くの歴史的建造物の調査や復元 計画に携わらない限りは、本物の実力にはつな がらず、飯の種にはなりません。

しかしながら、災害時における基礎的な調査 活動はサポートできそうなので、少しばかりの 社会貢献には役立つのかもしれません。

(山田 龍雄)

編集後記

翻新人紹介の記事から一年経ちました。まだまだ精進しなければと感じた今回のよかネット編集でした。(櫻)

よかネット No. 124 2016.10

(編集・発行)

㈱よかネット

〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3番8号 福岡パールビル8階

TEL 092-283-2121 FAX 092-283-2128

http://www.yokanet.com mail:info@yokanet.com

(ネットワーク会社)

㈱地域計画建築研究所

本社 京都事務所

TEL 075-221-5132

大阪事務所

TEL 06-6205-3600

東京事務所

TEL 042-501-2531

名古屋事務所

TEL 052-202-1411

㈱地域計画・名古屋